

# 第2期「茨城県まち・ひと・しごと創生総合戦略」の概要

## 人口の将来展望

○ 2060年に人口241万人程度展望

## 基本的な考え方

- 人口減少の緩和
- 活力ある地域社会の維持

## 計画期間

○ 2020～2024年度(5年間)

## 施策展開の 基本方針

Society5.0・  
SDGsの理念

- 若者が望む質の高い雇用の創出
- 科学技術を活かす・稼げる産業づくりの推進
- 本県の将来を支えリードする「人財」の育成
- ひと・もの・資金等の呼び込みの推進
- 子どもを産み育てやすい社会づくり・災害にも強く安心して暮らせる地域づくりの推進

## 数値目標

5年後の目標値

1人あたり県民所得 (全国順位)	雇用創出数	生徒の英語力 英検取得(中学:3級, 高校:準2級) 又は相当の割合	企業経営者が考える 成長期待度 経営者アンケートによる本県の成長 期待度	県民が希望する子どもの 数と実際の子どもの数の 差
2015年      2024年	2017年      2018～24年 累計	2017年      2024年	2018年      2024年	2017年      2024年
10位 ➡ 7位以内	2,138人 ➡ 2,200人/年 15,400人(累計)	中学43.3% ➡ 中学70% 高校36.2%    高校70%	—% ➡ 最高値の 更新	0.45人 ➡ 現状より 改善

### 基本目標1

稼ぐ地域をつくとともに、安心して働けるようにする

- (1) 地域の付加価値の向上や良質な雇用機会の創出
- (2) ブランディング等の推進・「海外から稼ぐ」地方創生
- (3) 次世代を担う人財育成

### 基本目標2

本県とのつながりを築き、本県への新しいひとの流れをつくる

- (1) 企業の本社機能移転の強化
- (2) 若者の修学・就業の促進
- (3) 移住の推進及び「関係人口」の創出・拡大

### 基本目標3

結婚・出産・子育ての希望をかなえる、誰もが活躍できる地域社会をつくる

- (1) 個々人の希望をかなえる少子化対策
- (2) 全世代・全員活躍の社会づくり
- (3) 地域共生社会の実現

### 基本目標4

ひとが集う、安心して暮らすことができる魅力的な地域をつくる

- (1) 持続可能なまちづくり
- (2) スポーツ・文化まちづくり
- (3) 危機に強い体制づくり

65  
施策(各々にKPI)